

令和3年度 前期

学校関係者評価

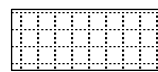
アンケート結果

府中市立府中第六中学校

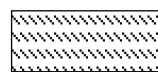
前期アンケート結果と考察です。

グラフのパターン内訳

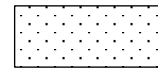
とてもそう思う



まあそう思う



あまり思わない

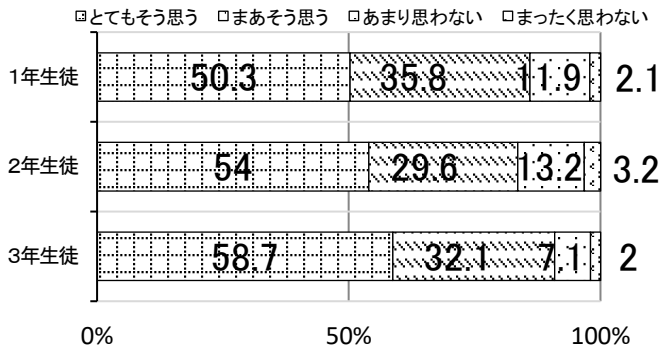


まったく思わない

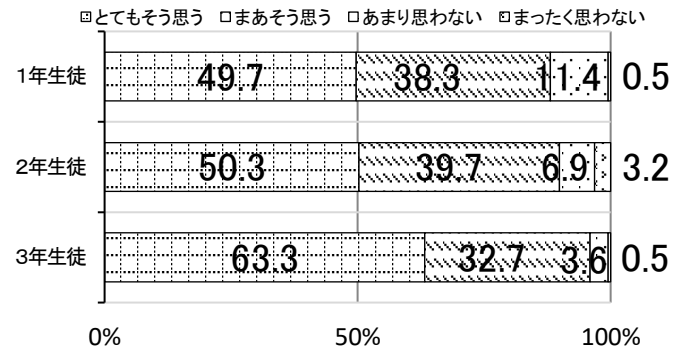


で示してあります。

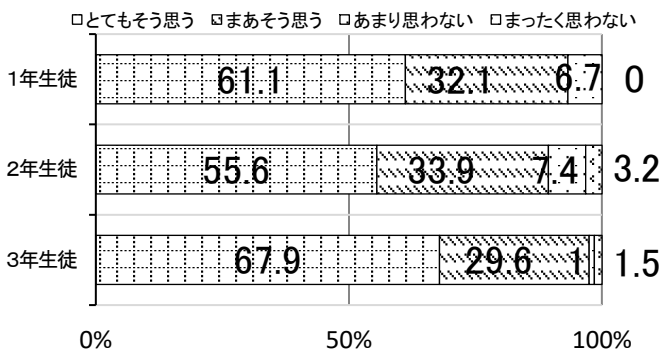
1 学校生活は、充実していて楽しんでいる。



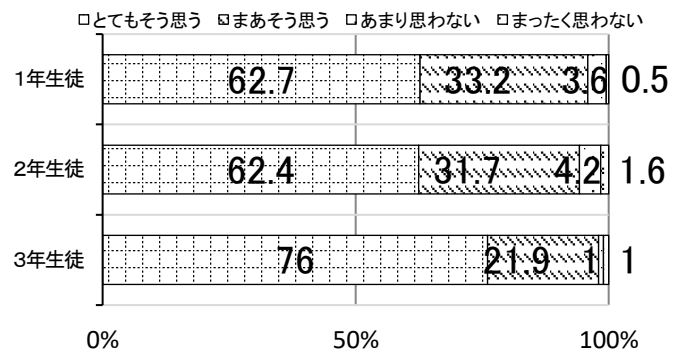
2 あいさつをきちんとしている。



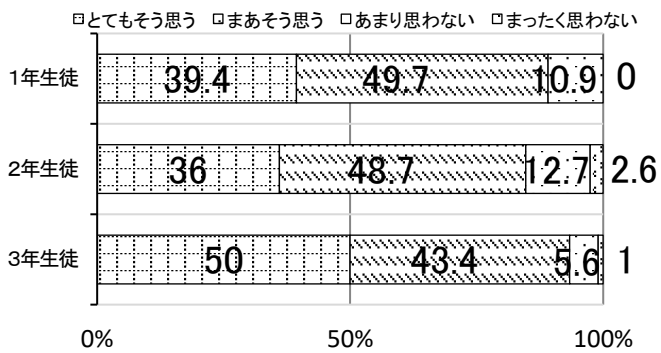
3 チャイム着席など時間を守って生活している。



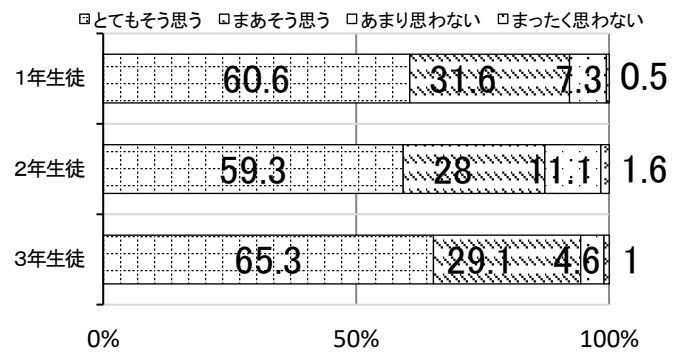
4 学校のきまりをきちんと守って生活している。



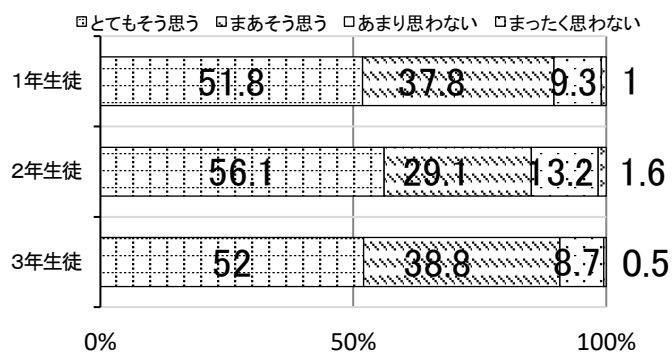
5 自ら主体的に、集中して授業に臨んでいる。



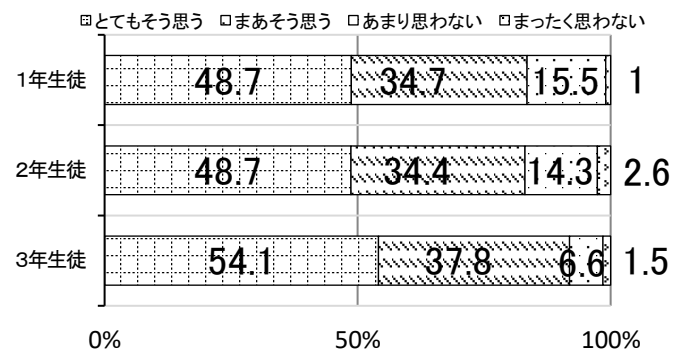
6 出された宿題はきちんとやっている。



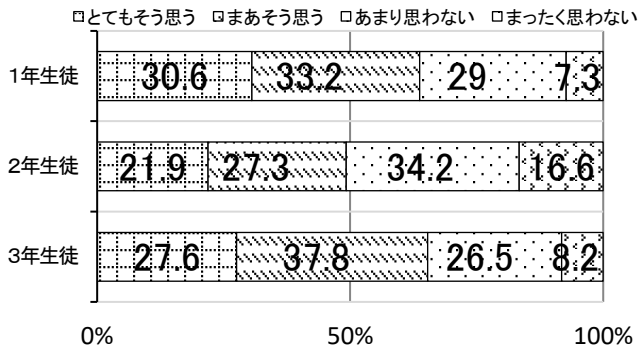
7 委員会活動や係活動に積極的に取り組み、自分の責任を果たしている。



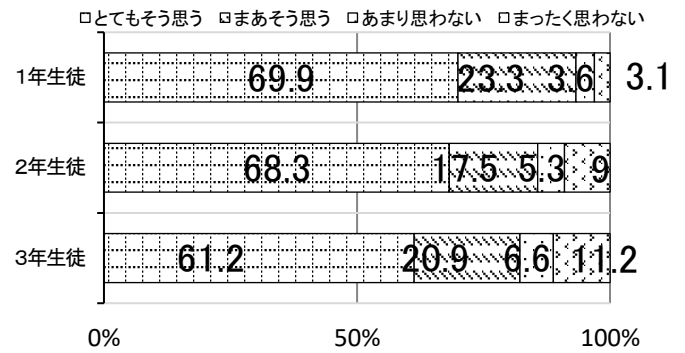
8 行事に対しては仲間と協力し、自分から積極的に取り組んでいる。



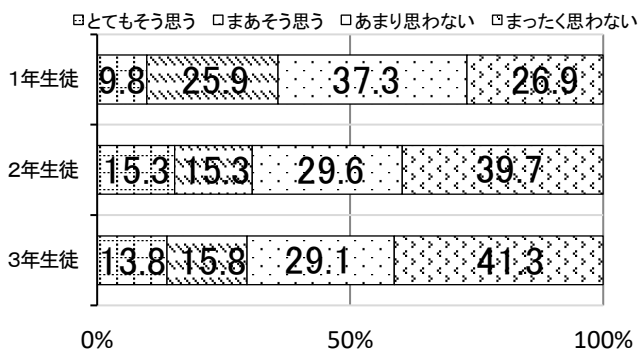
9 家庭学習の習慣がついている。



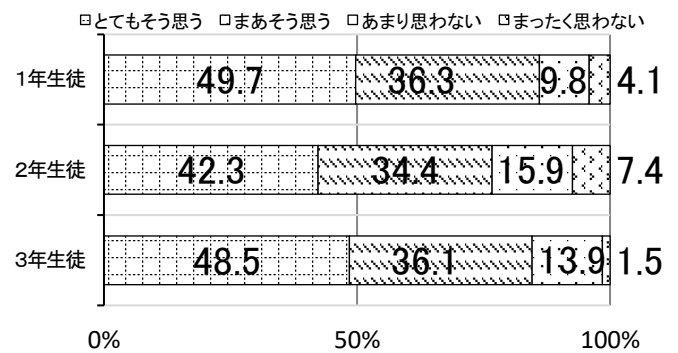
10 部活動に積極的に参加し、活動している。



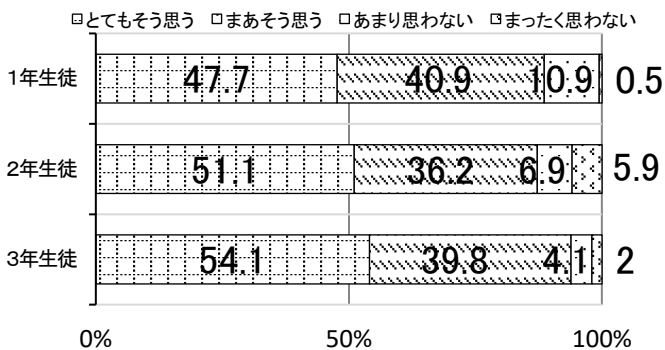
11 地域ボランティア活動に自ら進んで参加した。



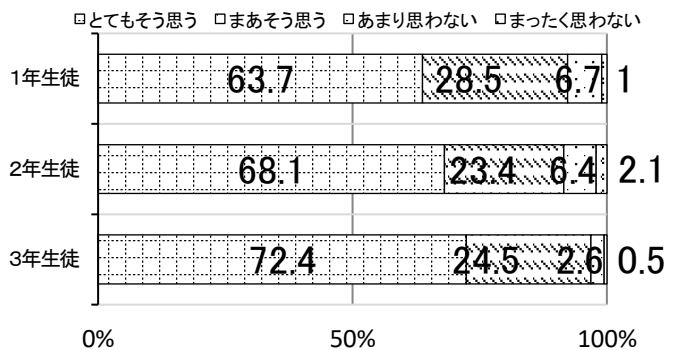
12 学校での様子を家庭で話している。また学校からのプリントや連絡を忘れずに持って帰り、伝えている。



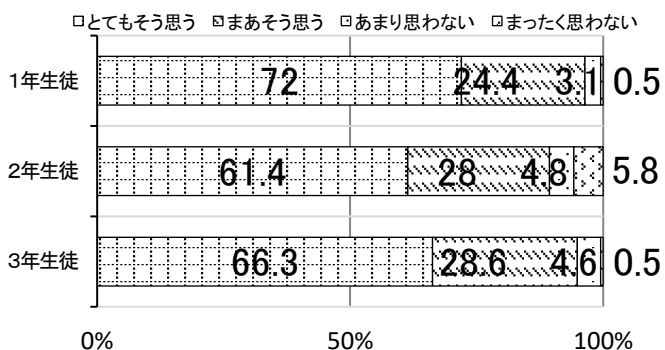
13 いろいろな考えや立場の周りの仲間たちに対して思いやりの気持ちをもって接している。



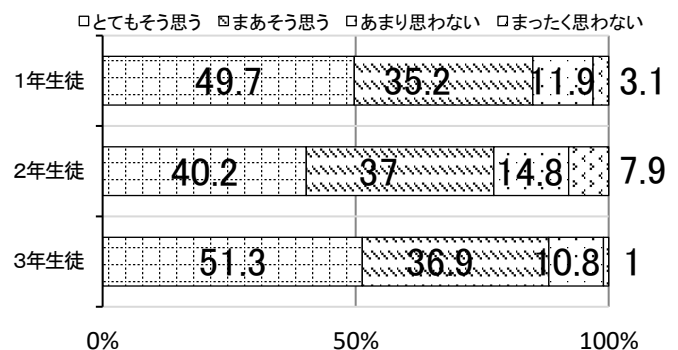
14 教員は授業規律を守らせるために、生徒にきちんと注意をしている。



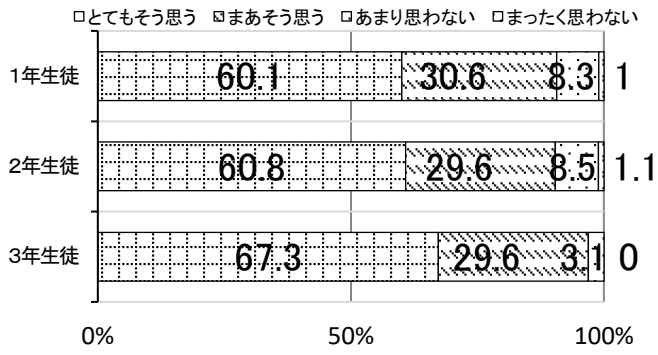
15 教員は学校にいじめや暴力などの問題行動がないように熱心に指導している。



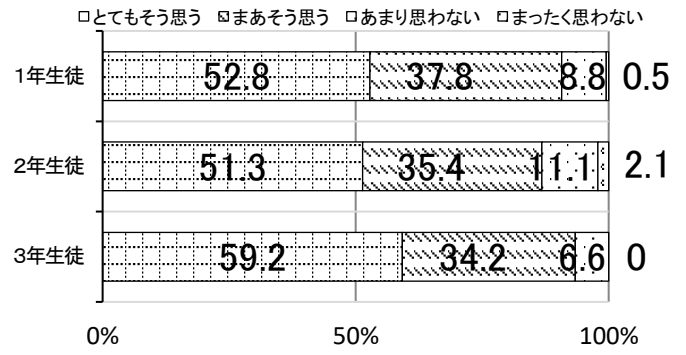
16 教員は生徒の悩みや不安の相談しやすい雰囲気である。



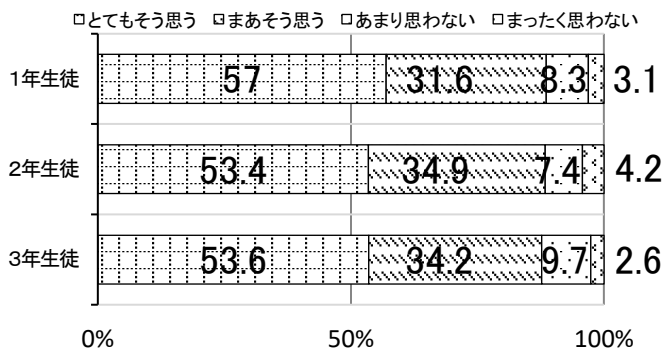
17 学校は、学校便りや学年便り等を通じて、積極的に学校の様子を伝えている。



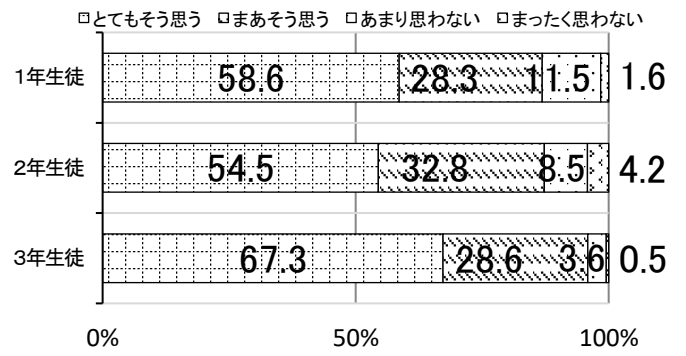
18 総合的な学習の時間では、進んで課題を解決し、調べたり考えたりする時間となっている。



19 道徳の授業は、自分自身を見つめ直す機会となっている。

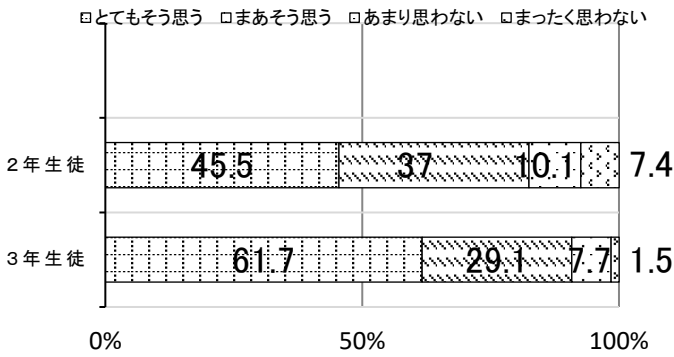


20 進路学習は、これからの生き方について考える機会となっている。

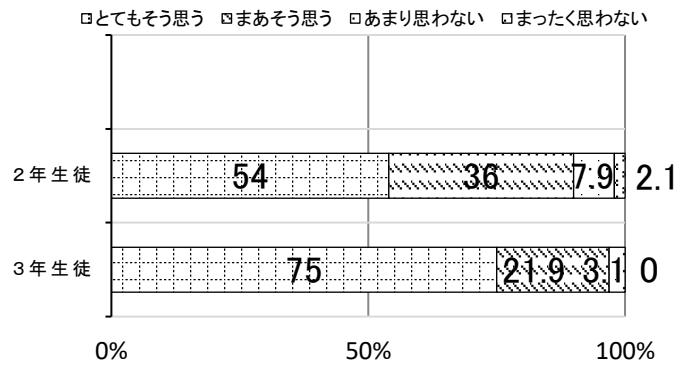


数学 [少人数] 生徒対象

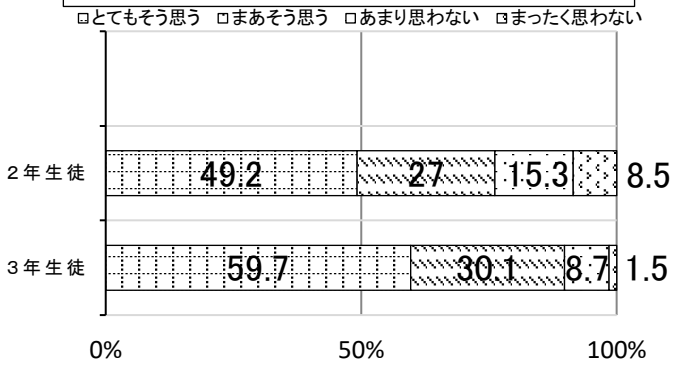
1 授業の進度やスピードはちょうどよいと思いますか。



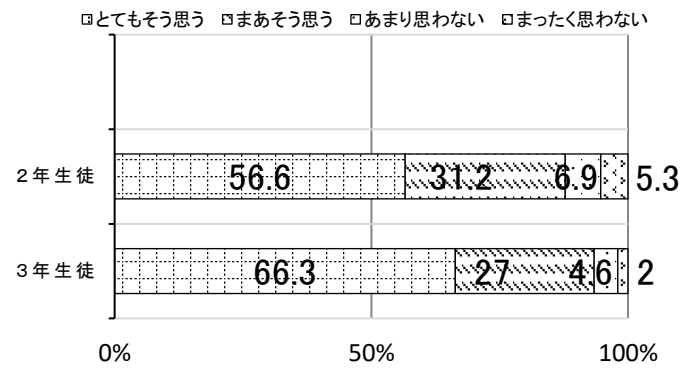
2 集中して取り組めますか。



3 一斉授業に比べて学習活動がしやすいですか。

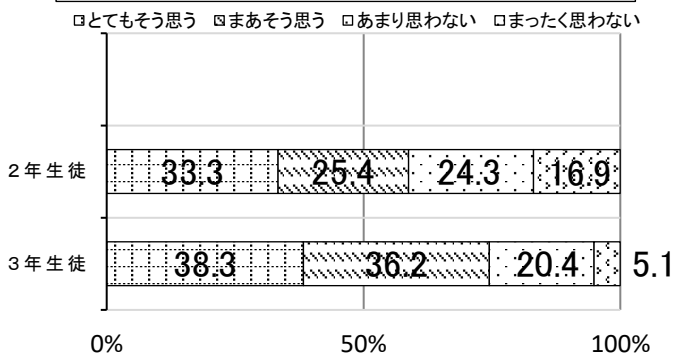


4 今のコースは自分に合っていますか。

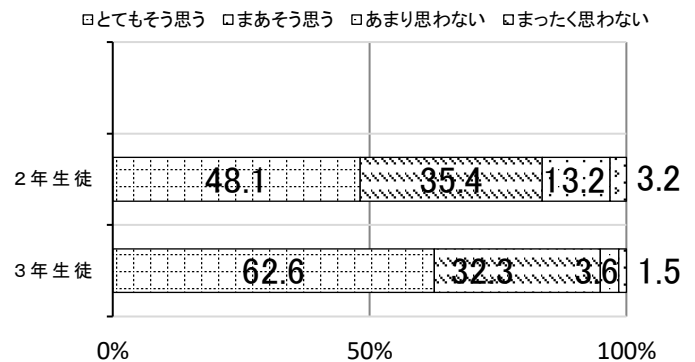


英語 [少人数] 生徒対象

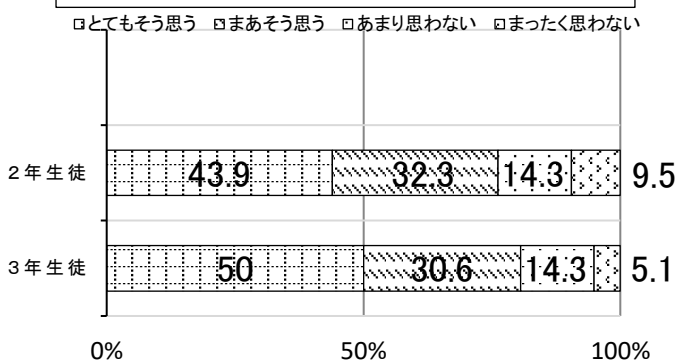
A 授業の進度やスピードはちょうどよいと思いますか。



B 集中して取り組めますか。



C 一斉授業に比べて学習活動がしやすいですか。



【分析・考察】

学校生活・授業について

◎1 「学校生活は充実して楽しんでいる」

肯定的な回答は、1年生 86.1%、2年生 83.6%、3年生 90.8% である。

2年生において 否定的な回答が16.4% となっていることが気がかりである。設問が大きなくくりでの問いのため原因の特定は難しいが、学習面か、人間関係によるものか。原因をつかみ、これ以上の低下を防いでいく必要がある。

◎2 「あいさつをきちんとしている」

学年進行に従って肯定的回答の割合が高まっている。「校内でいつでもどこでもあいさつ」の習慣づいている様子がうかがえる。

◎4 「学校の決まりをきちんと守っている」

全学年とも約95%の生徒が肯定的な回答となっている。学校内外での落ち着いた生活を送っている指標となっている。

◎9 「家庭学習の習慣がついている」

3つの学年の中で、2学年の肯定的評価の割合がいちばん低い。「中だるみ」といわれる時期のためか。入学時より「ひとりで勉強できる力」をつけていくことが課題である。

◎12 「学校での様子を家庭で話している。また学校からのプリントや連絡を忘れずに持って帰り、伝えている」

肯定的な回答は 1年86% 2年76.7% 3年 84.6%である。三者面談等で確認したり、何らかの形で方策をうち、100%に近づけていく努力が必要であろう。

◎20 「進路学習は、これからの生き方について考える機会となっている」

肯定的な回答は 1年86.9% 2年87.3% 3年 95.9%である。学年進行につれ肯定的な回答の割合が高まっている。コロナ渦により職場体験を体験した学年は存在しない状況である。しかし、職業調べ、職業講話等、代替の対応による成果が出ていることがうかがえる。

委員会・部活動について

◎7 委員会活動や係活動に積極的に取り組み、自分の責任を果たしている

肯定的な回答は 1年89.6% 2年85.2% 3年 81.1%である。何らかの形で自分の役割を果たす意義を理解している指標となっている。

◎10 部活動に積極的に参加し、活動している

肯定的な回答は 1年93.2% 2年85.8% 3年 82.1% (*7月で引退している生徒が多い) である。生徒にとって学年・学級に次ぐ居場所となっていることがうかがえる。